

新エネルギー導入のための取組（素案）

1 基本方針・施策体系

基本方針	施策の方向性
ジオパークの豊かな地域資源の活用	地熱、小水力、木質バイオマスの導入推進 (民間プロジェクトの支援)
災害に強いまちづくり (地域分散型エネルギーの導入)	防災拠点、避難施設への新エネ導入 公共施設の屋根貸し
新エネルギーを通じた地域活性化	太陽光・太陽熱、ペレットストーブの設置補助
	市民ファンドの検討
	カーボンオフセットの検討 情報提供、新エネ可能性調査（小水力）

※上記を効果的・効率的に推進する実行性の高い新エネルギー導入モデルを「糸魚川モデル」として4つ程度を定める。

2 新エネルギー導入モデル

新エネルギー導入モデル	概要	市の役割
①地熱発電／温泉熱発電導入モデル	<ul style="list-style-type: none"> 地熱発電、温泉熱発電、温泉熱利用 民間団体による事業化 	<ul style="list-style-type: none"> 可能性調査、情報提供 関係者調整 補助金申請 等
②小水力発電導入モデル	<ul style="list-style-type: none"> 農業用水路における小水力発電導入 土地改良区や民間による事業化 	<ul style="list-style-type: none"> 可能性調査、情報提供 公共施設の開放 関係者調整 補助金申請 等
③木質バイオマス導入モデル	<ul style="list-style-type: none"> ペレットストーブ、ボイラーの普及促進 カーボンオフセットの活用 	<ul style="list-style-type: none"> 補助金 情報提供 公共施設での率先導入 関係者調整 等
④公共施設新エネルギー導入モデル	<ul style="list-style-type: none"> 防災拠点（本庁舎等）への太陽光、蓄電池、高効率設備更新の率先導入 避難施設（学校、集会施設等）への太陽光、蓄電池の率先導入 環境啓発、防災拠点の機能強化 	<ul style="list-style-type: none"> 率先導入 (屋根貸しも含む)